

はい！

やくも町議会です

第63号
令和元年11月

編集／議会広報広聴常任委員会



映像配信中！YouTube
「八雲町議会」で検索



みんな仲良し…… ((はまなす保育園))

撮影：牧野議員

主な内容

	ページ
○平成30年度決算審査（決算特別委員会）	②
○6名の議員が町政を問う（一般質問）	⑥
○議件・賛否一覧他（定例会・臨時会）	⑫
○議会報告会	⑯
○常任委員会の活動（所管課報告）	⑯
○八雲をたべY.O！実行委員会（耳をすまして）	⑯



ホームページアドレス <http://www.town.yakumo.lg.jp>

町民の幸せにつながったか？



※主な質疑を抜粋しました。



よこた 喜世志 委員長

Q ふるさと納税の事務費（委託料）に10億7千万円は、かかり過ぎではないか。経費を抑えることはできないのか？（佐藤）

A より低く抑えられるように工夫する。（課長）

Q 特定政策調査検討業務事業のブドウ試験栽培の具体的な内容は？（赤井）

A 旧蕨野小学校跡地を利用し、昨年5月連休明けに赤2種類、白2種類の5本ずつ20本を試験的に植えた。今年も追加の補植を行つた。昨年6月から7月は低温長雨

Q 合併後、初の新年交礼会だつたが、どのように総括しているのか？（三澤）

A 1月8日の午後に開催した。159名の参加だったが、もう少し多くの参加を期待していた。周知が12月広報の1回のみだったのでも、少なくとも11月、12月の2回は広報に掲載したい。次回も「はぴあ八雲」で立食形式などで、出席者が動きやすいように工夫し、開催時間も2次会に流れやすいよ

Q 将來的にはワイン造りにつながる可能性はあるのか？（赤井）

A 今は1件の農家が協力してくれているが、今後、協力者も増える予定なので、10年後を目指し進めていきたい。（町長）

Q 10年後を目指すなら、もっと内容を公表すべきでは？（三澤）

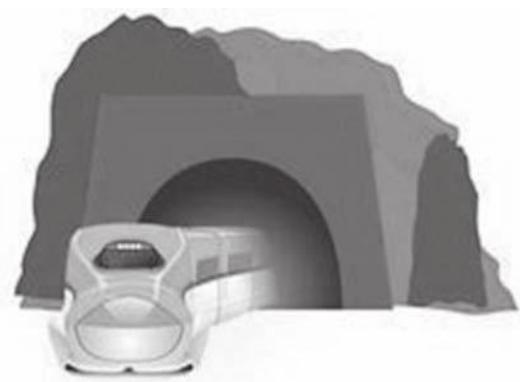
A まだまだ結果が出る段階ではないので、公表できる段階になつたら発信する。（町長）

Q 新幹線のトンネルから出る要対策土の処分地は、八雲町内にないのか？（大久保）

A 鉄道運輸機構から町に受入地を紹介してほしいと要請があり、今まで候補地が選定できずにいた。民有地であれば、将来の管理に不安があることから、町有地で受け入れする方針。引き続き、鉄道運輸機構と協力しながら、探していく。（室長）

だつたため、収穫は良くなかったが、今年は順調に育つていています。（課長）

う、夜に開催することを考えている。（課長）



【民 生 費】

Q 熊石地域における学童保育について、「父母からの要請がないから」という認識のまま、需要調査もしていないのではないか？（田中）

A 八雲地域並みの整備は、人材確保や費用の面でも難しいと判断している。平成30年度から、くまいし館（管理人が常駐）で月に10

人程度だが、安心して過ごせる環境を提供している。（課長）

Q くまいし館の活用をPRしているのか？（三澤）

A 熊石総合支所には、くまいし館の使い方を明記しているので、案内はしていない。（課長）

Q 福祉タクシー事業について、80歳以上の町民税非課税世帯を対象に、年間7千2百円の福祉タクシーチケットが出ている。そろそろ年齢を引き下げるか、金額を上げることを考えても良いのではないか。（佐藤）



みやもと
宮本 雅晴 副委員長

【衛 生 費】

Q 各種がん検診の受診率が低いままだが、アクションを起こさないと数字が上がらないのではないか？（三澤）

A 健康管理は自らの意思でやるべきことと考えている。受けたくない人に「受けてください」と、引っ張っていくのは違うのではないかと考へる。（町長）

Q 年間7千2百円だと、一ヶ月6百円だ。バス片道で390円、往復では780円、それよりも低い。遠隔地では往復もできない。料金を増やすべきでは？（牧野）

A 確かに地域格差はある。しかし、公共交通の協議を、今年、始めたばかりなので、福祉タクシーとは別の観点で考えたい。（町長）

Q 福祉タクシー事業について、80歳以上の町民税非課税世帯を対象に、年間7千2百円の福祉タクシーチケットが出ている。そろそろ年齢を引き下げるか、金額を上げることを考えても良いのではないか。（佐藤）



雇用確保は急務！

Q この4年間の取組みの結果、研修牧場や商工関係の株式会社へとつながったのか？（赤井）

A そのとおり。ただ、担い手確保については、これで終わりではなく、今後も産業部門と共に研究が必要。（課長）

Q 町が出資して、二つの株式会社を作るという意見は、産業連携促進協議会から出たものなのかな？（赤井）

A 協議会として結論付けたものではなく、町の政策判断。しかし、こうしたものが必要という意見は、産業界と意見が一致している。（課長）

Q 産業人材確保・育成事業（リプロモ事業）の成果は？（赤井）

A リプロモ事業は4ヶ年の最終年度となる。この事業で目指してきたものは、八雲町の産業界を担う人材の確保と育成。この春から、その事業をトータルマネジメントする組織を株式会社として設立する準備をしている。新規就農者のための家賃補助や、奨学金返済のための補助、研修牧場の創設にもつながっていった。（課長）

Q 4年間で、人材確保はどれくらい実現したのか？（赤井）

A この事業の中で、人材を確保していくのが目的ではなく、どのように進めて行くかを議論する。実態のシミュレートとして協力隊を雇い、空き店舗を利用して、様々なビジネスを考えさせ、教育を施してきた。（課長）

A リップモ事業が立ち上がったら、雇用が生まれると思っていた。4年間、国のお金を使って話し合った結果、町が出資して株式会社を作り、町長が社長になるということなら、もっと早くからやつた方が手っ取り早かったのでは。この4年間の時間と予算是、もっとうまく活用できたのではないか？

（赤井）

A リップモ事業には大きな期待をしていたが、なかなかうまくいかず、大きな反省が必要。たくさん反省もあるが、学んだことも多いので、今後それらを活かして、ステップアップしていく。（町長）



【農林水産費】

Q 地域バイオマス産業推進事業の状況と今後は？（赤井）

A 平成29年度は畜産農家の意向調査を行った。平成30年度は、売電、自分で活用、熱利用などいろいろシミュレーションしている。

八雲町ではすでに大型農家が取り組んでいるが、家族経営の農家においても費用対効果も検討し、令和元年は国のバイオマス産業都市構想の取得を目指している。取得することで有利な補助金も得られる。（課長）

A 今後、農家の賛同があれば、糞尿は電気や熱に利用できる形になるのか？（赤井）

糞尿処理の費用対効果を考えながら、より有効に活用し、環境にも配慮できるよう取り組んでいく。（課長）



Q ウニの深浅移植事業の平成30年度の様子は？（赤井）

A 当初、6万8千個の移植を計画していたが、長雨や時化のため海が濁っていて、最終的に4千5百個しか移植できなかつた。（課長）

Q 漁家の数が減っているためではなく、時化のための結果か？（赤井）

A 漁家も減っているが、海が濁っていて、ダイバーも潜つていけなかつた。今後、この事業は縮小を考えている。（課長）

ウニ深浅移植事業

深水域（10m以上）の未利用ウニを浅海域に移植し、養殖する事業。
事業主体：熊石磯廻り部会（代表）
事業費：204万円
(町が1/2を負担)

Q 自分たちのものを自分たちで売りさばく動きもとても大切。部会にのみ目を奪われては、大切な芽を摘んでしまうのでは。やる気のある人を育てて行ってほしい。（三澤）

A この事業に関わらず、若者のやる気を大切に、最善の方法を尽くしていく。（課長）

A やる気を持たせ、産業として育てる方向で考えていいたい。（課長）

り、漁に出る出ないの判断に積極性が見られなくなっているのではないか。部会への補助では、熱意のある青年たちのやる気を削ぐのでは？（三澤）

**Q 町有林森林認証事業の狙いと
メリットは？（大久保）**

A SGECCという国際認証基準の認証を平成29年度から取得している。現在は、認証をうけているからといって、明確な値段の違いはないが、輸入材については、国際認証がなければ輸入できなくなっているので、今後の木材流通のスタンダードになっていく。町有林で認証取得できる所は、すべて取得済みであり、民有林についても取得を推奨していく。（課長）

【土木費】

Q 空き家対策事業の支出がないが、PR不足や、情報共有の不足が原因では？（三澤）

A 始まつたばかりの事業で認知度が低かった。町のホームページ等でPRしながら、制度の熟成を図っていきたい。参考として令和元年度は、空き家解体支援、子育て支援用改修事業ともに申請を頂いている。（課長）

【歳入】

Q 基金が86億円も積み上げられていて、国からの交付税が減額される恐れはないのか？（田中）

A 確かに、使途が明確ではない財政調整基金の残高は国も注視しているので、10億円を目指としている。しかし、他の取り崩し可能な基金の残高は74億円となっています。（町長）

基金の状況

単位：千円

区分	H30年度末現在高
財政調整基金	1,026,430
減債基金	544,214
特定目的基金	6,678,225
公共施設整備基金	1,208,298
まちづくり振興基金	122,508
中山間ふるさと・水と土保全基金	5,324
地域福祉基金	301,886
ふるさと振興基金	80,424
地域振興基金	1,100,000
ふるさと応援基金	3,859,785
小計	8,248,869
定額運用基金（現金）	228,071
土地開発基金（現金）	163,633
奨学基金（現金）	64,438
国民健康保険事業基金	0
介護給付費準備基金	103,076
農業集落排水事業償還基金	32,789
合計	8,612,805

【教育費】

Q 農漁商工業後継者養成補助金について、対象者を把握したうえでの予算（大学生2人、高校生2人）であつたかと思うが、決算では大学生1名分となつていて、どういうことか？（三澤）

A 平成30年度は1名に貸付けをした。予算では、入学後の申請も見込んで計上している。（課長）

【病院事業会計】

Q 経営改善は進んでいるのか？（牧野）

A 人口減少など、地域医療を取り巻く経営環境は厳しい状況にある。現在委託している経営改善アドバイザリーにより、今後、数年で改善が見られるように取り組んでいる。（事務長）

Q 医師確保はどのようになっているのか？（牧野）

A 地域医療の充実を図るために、医師の確保は、極めて重要な課題である。大学と関係機関、団体等と連携し、お願いしている。（事務長）



一般質問

町政を問う！

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

みやもと まさる
宮本 雅晴 議員

Q

火葬場へ冷房設備を

A

施設の改修・改築を考える

問 八雲町の斎場は、待合室のホール、和室、炉前のホールが、とても暑い。収骨場は熱で更に暑い状況である。函館や七飯はオーバルエアコンになっている。最後のお別れをする場所があるので、環境設備を整え、八雲斎場と熊石斎場も一日も早くオールエアコン化するべきと考える。町長の考えを伺う。

町長 昨年の斎場利用状況は、八雲斎場216件、熊石斎場が53件となつておおり、エアコンが必要と見込まれる7月、8月の利用は、八雲斎場27件で、熊石斎場は8件となつてている。



町民からの要望は聞いていないが、今後、八雲斎場と併せて、必要があればエアコンの整備を考える。火葬炉も老朽化しており、早急にとは言えないが、財政的なことも踏まえ、改築も考える。



みさわ きみお
三澤 公雄 議員

Q

ハラスメント規制法を基に条例を作るべき！

A

国や近隣自治体の動向を見ながら考える

気はしますけれども・・・。

・ハラスメントは人間関係もある。

これからも国や近隣町の動向を見ながら考えていく。

・休まれている職員のすべてがパワーハラスメントではない。職員には適材適所で働きやすい部署をと考えてい

・この指針の活用は足りなかつたと反省もあり、しっかりと考えていくべき。多種のハラスメントについて認識をしつかり持つて進め

質問を終えて
26年4月に施行した「パワーハラスメントの防止等に関する指針」

精神的な病気を理由に休んだ職員数

単位：人

年度	休んだ職員	復帰支援
H23	5	1(勤務軽減)
H24	11	1(勤務軽減)
H25	10	1(試し出勤)
「パワーハラスメントの防止等に関する指針」 H26.4.1策定		
H26	11	3(試し出勤)
H27	8	4(試し出勤)
H28	9	1(勤務軽減)
H29	11	1(勤務軽減) 3(試し出勤)
H30	8	1(試し出勤)
R元	3	1(試し出勤)

- ・色々な場合があり、これですべてを網羅しているとは考えていない。条例を作る事は大切だといふ。
- いくつかの町長答弁



精神的な病気を理由に休んだ職員数

年度	休んだ職員	復帰支援
H23	5	1(勤務軽減)
H24	11	1(勤務軽減)
H25	10	1(試し出勤)
「パワーハラスメントの防止等に関する指針」 H26.4.1策定		
H26	11	3(試し出勤)
H27	8	4(試し出勤)
H28	9	1(勤務軽減)
H29	11	1(勤務軽減) 3(試し出勤)
H30	8	1(試し出勤)
R元	3	1(試し出勤)

●復帰支援以外の職員支援

- ①ストレスチェック
- ②産業医との面談
- ③総務課職員との面談
- ④コンプライアンス研修(ハラスメント研修)
- ⑤管理者研修

という内部規則で対応していた。
しかし、この指針の適用前と、

適用後では「精神的な病気を理

由に休んだ職員数」に有効な変化

は見られない。この規制法を基に

して、すべてのハラスメントへの

対応を充実させるべき！」と訴えた

が、のらりくらりと言葉は多いが、

対応を充実させるべき！」と訴えた

おおくぼけんいち
大久保建一 議員

Q

防犯カメラを設置し、安全なまちを！

A

住民の意見を聞きながら検討する

町長

防犯カメラには、①犯罪者に犯行を思いとどませる犯罪抑止効果、②その場の利用者に安心感を与える効果、③映像を利用し犯罪捜査へ貢献する効果の三つの

しかし、プライバシーの問題もあり、設置場所の入念な検証と、住民との合意形成が必要である。

地域住民の声を聞きながら、八雲警察署とも連携し、検討を進める。

質問を終えて

年々減少傾向にあるとはいえ、この八雲町で毎週のように犯罪が発生しています。

また、登下校の児童を狙った不審者の話も、昔からなくなりません。デジタル技術も進歩し、防犯機器も安価になってきている昨今、住民生活の安心と安全には、極めて費用対効果の高いことだと思い、提案しました。町長からは前向きな答弁をいただいたので、今後の進捗を注目していきます。



八雲町においても、通学路を中心とした公共施設前や主要な交差点等に、防犯カメラ設置を進めるべきと考えるが、その考え方伺う。

防犯カメラやドライブレコーダーによる事故や犯罪の映像が、ニュース等でよく見られるようになつた。その映像は事故処理や示談協議、犯罪の告発や捜査にとても有効であり、その普及率は民間レベルでも上がつてきている。

また、防犯カメラは、映像記録の保存というだけではなく、その存在を知らしめることが防犯にも有効だという。

八雲町においても、通学路を中心とした公共施設前や主要な交差点等に、防犯カメラ設置を進めるべきと考えるが、その考え方伺う。

先進地事例

- ・千葉県市川市では、防犯カメラを市内各所に設置してから、犯罪認知件数が設置前の約1／3に減少した。
- ・大阪府枚方市でも半減した。

八雲警察署管内の犯罪発生件数

平成28年	86件	(内61件は盗難)
平成29年	66件	(内43件は盗難)
平成30年	66件	(内38件は盗難)

よこた 喜世志 議員
よし
横田 喜世志 議員

Q

スマホの充電器も備えては？

A

備蓄品のひとつとして備える



八雲町に被害を及ぼした災害は、地震では「北海道南西沖地震」、「東日本大震災」、「北海道胆振東部地震」で、全国的には毎年、甚大な被害を出している台風や水害など、近年多発している状況である。災害に備えて必要な物品を備蓄しているが、生活様式の変遷により、スマホの充電が必要となつてきている。各避難所に配置する発電機と一緒にスマホの充電器を配備することが必要ではないか。

町長

スマートフォンの保有率は60・9%となつており、電話機能とインターネット接続機能を備えている。

電源タップを、予算の範囲内で購入することを検討している。電ケーブルをつなぐことができる

えているスマートフォンは、電池の消費が早く、災害時に充電の需要が高まることは、昨年の胆振東部地震の際に、官民双方で充電場所が設置されたことからも明らか。当町としても、必要性は十分認識しており、災害時備蓄品のひとつとして、今年度、一度に複数の充



総務課長

当初予算で予定している備蓄品を購入した中で、執行残が既に出てるので、その範囲内で電源タップを調達したいと考えている。今年度、ある程度の数を調達し、不足がある場合は来年度予算に考えている。



議会これからの予定

《11月》 28日 第5回臨時会

《12月》 4日 議会運営委員会
9日～13日 第4回定例会
会派代表者会議
各常任委員会
13日 全員協議会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、
令和元年第4回定例会
12月9日（月）午前10時から
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。
YouTubeで映像配信もします

町政を問う

あかい 赤井 瞳美 議員

Q

町民誰もが安心して過ごせる八雲町に！

A

十分配慮し、丁寧に対応する



漁業体験を楽しむ外国人観光客



問

全国的に少子高齢化・人口減少が進む中、最近の八雲町は

ターンの若者や移住者等により、

減少カーブが少し穏やかになって

いる。外国人就労者等も増えつつ

ある中、全ての町民が安心・安全

に過ごせる対応が必要。

①八雲町を訪れる外国人のために、案内表記は外国語で行うこと必要では？

②外国人就労者のための相談窓口の明記や紹介が必要では？

③「町民」という言葉に対する解説の仕方や、各種案内やチラシの標記をわかりやすく丁寧に行う必要があると思うが、町長の考えを伺う。

町長

①外国人宿泊数は1%と規模が小さい。パノラマパークに多言語の観光パンフレットを設置し、観光物産協会のホームページにも多言語で若干紹介しているが、

そうしたことにも目を配りたい。
②北海道でも取り組んでいるので、八雲町としても対応が必要。災害時の避難については、町の中にQRコードを使った案内も考えられ

る。来年から商工観光労政課を中心とした窓口での対応を強化する。心窓口を設置し、相談を受ける形で考えている。

③町民皆様への周知については、わかりやすく丁寧に行う。

Q 工エネルギー・地産地消の実現を！

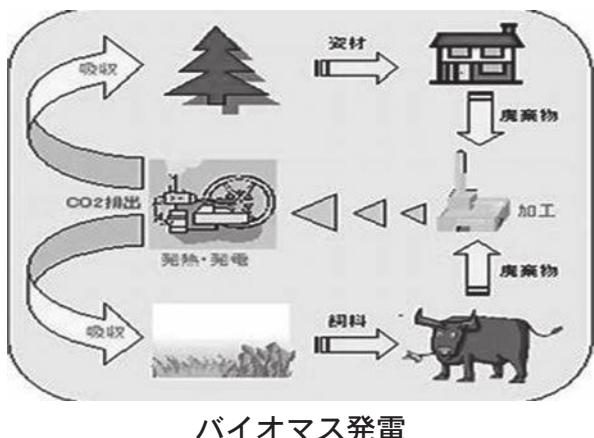
A 様々な可能性を含め、幅広く研究を進める

問 八雲町では、エネルギーの地産地消は十分に可能だと思う。

エネルギーの地産地消は、今まで外へ出ていたお金が、地域を循環するという理想的な仕組みが出来る。町長の公約にもあるので、是非実現すべきだが、実現に向けての課題と可能性は？

町長 自治体新電力については、発電コストの低い独自電源、ま

たは電力の確保、「町内企業や住民の需要の確保」、「それらをビジネスとしてマネジメントする能力や体制」が大きな課題。ただ、可能性は有りか無しかと問われると、もちろんある。今後、国や道からのいろいろな情報を集めながら、一部地域からでも始めていけるよう考えている。新庁舎等について考えるときも、その辺を十分考慮しながら、施設整備をしていく。



バイオマス発電

定例会・臨時会議件一覧

令和元年第3回臨時会議件一覧（令和元年7月22日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第2号	工事請負契約の締結について
令和元年第4回臨時会議件一覧（令和元年8月8日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第4号	工事請負契約の締結について
議案第2号	工事請負契約の締結について	議案第5号	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第4号）
議案第3号	工事請負契約の締結について	—	—
令和元年第3回定例会（令和元年9月9日～13日）			
認定第1号	平成30年度八雲町一般会計歳入歳出決算認定について	議案第10号	八雲町病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
認定第2号	平成30年度八雲町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第11号	山越郡衛生処理組合の解散について
認定第3号	平成30年度八雲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	議案第12号	山越郡衛生処理組合規約の変更について
認定第4号	平成30年度八雲町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第13号	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第5号）
認定第5号	平成30年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第14号	令和元年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
認定第6号	平成30年度八雲町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第15号	令和元年度八雲町病院事業会計補正予算（第1号）
認定第7号	平成30年度八雲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第1号	八雲町教育委員会委員の任命に関し同意を求めるについて
認定第8号	平成30年度八雲町病院事業会計決算認定について	発委第1号	キャッシュレス社会の実現を求める意見書
認定第9号	平成30年度八雲町水道事業会計決算認定について	発委第2号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
議案第1号	八雲町印鑑条例の一部を改正する条例	発議第1号	水産業の体質強化を求める意見書
議案第2号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	発議第2号	プラごみ対策を国に求める意見書
議案第3号	八雲町森林環境譲与税基金条例	発議第3号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
議案第4号	八雲町消防手数料徴収条例の一部を改正する条例	発議第4号	マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書
議案第5号	八雲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び八雲町保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例	発議第5号	太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書
議案第6号	八雲町大型獣解体処理施設条例	発議第6号	幌延深地層研究計画（案）の撤回を求める意見書
議案第7号	八雲町町営住宅条例の一部を改正する条例	発議第7号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
議案第8号	八雲町給水条例の一部を改正する条例	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	
議案第9号	八雲町簡易水道設置条例の一部を改正する条例	議員派遣の件	

異議あい！

第3回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議件名		採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	斎藤實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中裕仁	牧野仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉隆	黒島竹満	能登谷正人
発議第4号	マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書	否決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	×	×	×	/
発議第6号	幌延深地層研究計画（案）の撤回を求める意見書	否決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	×	×	×	/

※能登谷 正人議長は賛否同数の場合に、その可否を決定します。

群馬県利根郡町村議長会が視察！



議会基本条例について、群馬県利根郡の1町3村の議長の皆さんのが、八雲町議会に視察に訪れました。

これから議会活動に活かしていくことを目的に、議会基本条例を作るに至った経緯と、その後の取り組みについて話し合いました。

共通の課題として、議員のなり手不足の問題が浮き彫りとなりました。

議会のうごき

《8月》

- 8日 第4回臨時会
役場庁舎等整備調査特別委員会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
21日～22日 総務経済常任委員会行政視察調査
(奥尻町)
26日 広報広聴常任委員会

《9月》

- 4日 議会運営委員会
9日～13日 第3回定例会
9日 会派代表者会議
10日～12日 決算特別委員会
10日 文教厚生常任委員会
11日 総務経済常任委員会
12日 役場庁舎等整備調査特別委員会
広報公聴常任委員会
13日 全員協議会
議会運営委員会
会派代表者会議
20日 総務経済常任委員会

《10月》

- 1日 文教厚生常任委員会
8日 議会運営委員会
広報広聴常任委員会
9日 渡島檜山管内町村議會議員研修会
(北斗市)
15日 広報広聴常任委員会
25日 役場庁舎等整備調査特別委員会



開催しました！

かせてください～

3会場で40名は少ない！
もっと来てもらわなければ！

八雲会場

7月23日、はぴあ八雲で開催し、19名の皆さまの参加を
いただきました。

(議員定数・報酬について)

- ・人口約1万6千人で定数16人は良いと思うが、候補者はいるのか。
- ・今14人でやっていて、そこから亡くなったら更に減るのだから、減らすことは考えない方がいい。
- ・女性議員をどのように増やすか考えるべき。良いアイディアを持っている女性が多いから、そうした女性を入れるべき。
- ・人口減少に合わせて、定数も減らしていくべき。
- ・報酬に関して議論するなら、もっとしっかりとした資料が必要。
- ・今回のように、どんどん町民の意見を吸い上げて、議会で活かしてくれると、誰も報酬を下げるという人はいないはず。



(役場新庁舎について)

- ・新幹線が来たら、在来線の特急はどうなるのか。庁舎と共に警察や保健所の移転もあるという話を聞いたが、そうなると町が大きく変わる。そのことに対して詳しい説明がない。

(その他)

- ・議会サポーター等を導入して、もっと議会に関心を持ってもらうことが必要。退職した町職員の人たちに協力してもらって是非やるべき。

※主な意見を抜粋しました。

開かれた議会
をめざして

議会報告会

～皆さん の 声 を 聞

熊石会場

7月23日、熊石総合支所で開催し、14名の皆さまの参加を
いただきました。

(議会について)

- ・欠員が出ていて活動に支障はないか。
- ・人口が減ったから定数を減らすのではなく、地域の声を拾い上げることを考えた定数であってほしい。
- ・一般の会社員が議員になって活動するなら、今の金額では出来ないだろうなと感じる。
- ・報酬と定数は別々に考えるべき。なり手不足は環境整備の問題。
- ・議会として、熊石地域を発展させられるという思いはあるか。
- ・議会の映像配信、メリットはあったか。

(地域の要望)

- ・地域バス、あるいは福祉バスを導入できないか。
- ・新しくできる保育所に学童機能を持たせることはできるか。
- ・町道の状態を見て、現状を知ってほしい。
- ・国保病院は、地域や町民から信頼される病院づくりを。規模の適正化と共に、町民の命を守るためにどうするのか考えることが大事だと思う。

落部会場

7月23日、落部レクセンターで開催し、7名の皆さまの
参加をいただきました。



(議員定数・報酬について)

- ・議員定数は今まで、報酬は引き上げても良いのではないか。

(新庁舎について)

- ・3か所の視察は、どういったものか。それらの視察に基づいて、新庁舎設立はどういう規模で、どのようにしていくのか。

(公共交通について)

- ・病院関係で巡回バスがあれば良いなと思う。バス停まで歩くのも大変。

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

● 固定資産税における新築牛舎の
今後の課税方針について（財務課）

これまで、町の認定基準で、固
定資産上の「家屋」ではなく、「償
却資産」と認定した牛舎については、北海道において不動産取得税
を課税できなかつた。令和元年5
月に、渡島総合振興局より、不動

総務経済

常任委員会 の活動

令和元年8月から10月の
各常任委員会の活動です。

参考に牛舎を判定するよう、町に
要請された。今後は、令和2年1
月以降の新築牛舎より、道認定基
準に準拠し、「家屋」の判定を行う。

● 落部さけ・ます養殖事業の再構
築について（水産課）

今年度の施策事業であるが、地
下水開発が極めて困難となつたこ
とから、今年度からの事業展開は
取りやめ、事業の再構築を検討す
る。

● 八雲地域サーモン養殖試験事業
の実施について（水産課）

漁業経営の安定並びに、地域の
活性化を図ることを目的に、八雲
町と落部漁協が共同でサーモンの
海中養殖を実施する。

八雲地域サーモン養殖試験に係る費用

施設整備費用	4,190千円
種苗代	814千円
餌料購入費	147千円
その他 (海水馴致費用等)	1,275千円
合 計	6,426千円

八雲地域サーモン養殖試験事業の概要

施設規模	10m鋼管枠イケス
魚種及び数量	トラウトサーモン 300尾
種苗、成魚の大きさ	種苗 0.8kg／尾 成魚 3.0kg／尾（目標サイズ）
養殖試験の実施者	落部漁業協同組合 青年部

八雲地域サーモン養殖試験スケジュール

令 和 元 年	9月	10月	11月	12月	令 和 2 年	1月～5月	6月～9月
	イケス整備・設置 養殖試験準備		種苗搬入 馴致作業	飼育開始		飼育・環境調査 生物測定	生存率・増重率調査 試験結果まとめ

文教厚生

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

【保健福祉課】

1 高齢者等除雪費助成金交付事 業について

『対象者』 概ね65歳以上の者、または心身障がい者であって、身体の虚弱や障がいのために除雪が困難で、かつ、協力者の確保ができないもの
『除雪の実施方法』 15cm以上の降雪量で、除雪範囲は自宅玄関から直近の公道までの通路を確保し、1回に要する時間は30分以内で、1日2回を限度とする
『助成率』 生活保護世帯は4分の
3、生活保護以外の世帯は2分の
1。
『対象期間』 11月1日～3月31日。
『締結した事業者に対する支払いをした除雪料金。』



月31日で廃止。
たが、有資格者が不在のため、
門員を置かなければならなくなつ
て、居宅介護支援事業所の管理
者に重点が置かれ、居宅介護支援
事業所の管理者に主任介護支援専
門員を置かなければならなくなつ
たが、有資格者が不在のため、3

区分	改正前	改正後
燃やせるゴミ袋(大)	108円	110円
燃やせないゴミ袋(大)	108円	110円
燃やせるゴミ袋(中)	54円	55円
燃やせないゴミ袋(中)	54円	55円
燃やせるゴミ袋(小)	32円	33円
粗大ごみ処理券	108円	110円
小動物焼却手数料	2,160円	2,200円
し尿及び浄化槽汚泥 処理手数料100ℓまで	610円	620円
100ℓを超えて10ℓ増すごとに	61円	62円

区分	改正前	改正後
50ℓ券	240円	245円
100ℓ券	480円	490円
200ℓ券	960円	980円
500ℓ券	2,400円	2,450円
1,000ℓ券	4,800円	4,900円

山越郡衛生処理組合し尿処理費の 改正について	【環境水道課】
---------------------------	---------



熊石地域のごみ処理手数料・し尿 及び浄化槽汚泥処理手数料の改正 について	【住民サービス課】
--	-----------

ナードーの調査のため、10月3日、中頓別町議会の皆様が、はるばる八雲まで視察にいらっしゃいました。地域医療の取組みについて、お互いの町の情報交換をし、今後の取組みについて、熱く語り合いました。どこの町も少子高齢化による人口減少、医師確保に苦戦しているのですが、情報共有しながら、あきらめずに連携して対応していくことが大切だと実感しました。

中頓別町議会の皆様が視察に！

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

八雲をたべYΟ！実行委員会の皆さまです！

Q 今回の一番の目的は？

この農業祭で、地元の皆様に自分たちが作っている農作物を知ってもらい、地元の食材としても認めてもらいたくて企画しました。もち米の「風の子もち」や牛乳、野菜、花きなどの落部・八雲両支部の生産物のPRを一番に考えました。これまでも、落部支部は札幌や青森に出かけ、餅つき囃子を披露して、「風の子もち」のPRをするなど、積極的に取り組んでいたけれど、八雲支部はその点が弱い。もっと色々な野菜、花きを作っていることも、知ってもらいたい。

Q 農業祭を終えてどうでしたか？

今回は、これまでの2回とガラッと変える！ということを強く意識していて、コンセプトも農産物を前面に出すことにこだわりましたし、場所も変えた。にもかかわらず、予想以上のお客様に来てもらえて、感動しています。

Q 最近、新規就農者が増えてきていますね。

その方たちとの交流は？

青年部ではないけれど、4Hクラブなどで交流がある。視察にも行かせてもらいました。他の行事で、例えば耳吊り大会やハロウィン、農泊等の打ち合わせの場で一緒になることがある。彼らも積極的にまちづくりに関わってきてるので、僕たちも負けずに頑張りたい。

Q 今後の目標は？（個人的にどうぞ）

- ・肉牛の育成を50頭ほどやっています。自力で育成舎の改修をやっている。更に牛の数を増やしていきたい。



- ・親の仕事をしっかりと引き継げるよう、日々勉強です。結婚したいです。
- ・放牧に取り組んでいます。試行錯誤しながら、乳量を7,000kg／頭から9,000kg／頭に増やしてきた。更に充実させていきたい。

Q 農業祭「八雲をたべYΟ！」に関しては？

来てくれる皆様に飽きられないよう、新しい取り組みも考えて行きたい。ゆくゆくは、この農業祭に加わりたくて、Iターン、Uターンする人が出てくるようなものにしていきたい。

…取材を終えて…

八雲では、もち米と軟白ネギ、牛乳だけではなく、色々な野菜も作られていることを町民の多くの方に知ってもらい、実際に食べてもらって、そのおいしさを広めてもらえるよう、これからも努力してもらいたいし、そんな農業祭でもあってほしいです。

編集後記

興味と感心を持ってもらうことが「協働のまちづくり」と「議員のなり手づくり」に繋がると信じ、今号から誌面改革を行っていきます。まずは、今まで一人1／2ページだった一般質問を1ページにしました。一般質問を行うことは義務ではないので、頻繁にやる人、たまにやる人、全くやらない人等いますが、議員個人の考えがわかりやすく、傍聴しても一番面白い？のがこの一般質問です。誌面で興味を持ったら、更に臨場感が伝わる動画(YouTube)もありますので、ぜひご覧ください。

また、これまで公平性や公共性を保つため、つまらなくなりがちだった記事全般も、これからは主觀を入れながら、「面白く、わかりやすく」を目標に、共感される誌面作りを目指していきますので、楽しみにしていて下さい。

議会広報広聴常任委員会 委員長 大久保健一



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。

製作後は八雲町議会事務局（☎ 0137-62-2388）へご報告ください。